

検討支援へツール

いであ地域との連携促す

いであは、企業が防災・減災行動を時系列的に確認できるタイムライン形式の

規模水害時に企業と地域との連携による防災・減災行動を促す。

BCP（事業継続計画）検討を支援するツールを作成した。発災によって想定される事業所の被害や業務への

支援ツールは2018年7月豪雨で被災した岡山県倉敷市の企業の意見を踏まえて作成した。

支障、止めてはいけない重要業務などを「水害BCPタイムライン記入用シート」に記入してもらい、ポイントを押さえたBCPの作成を支援する。実効性のあるBCP作成により、大

シートは▽ハザードマップから読み取れる災害状況▽想定される被害▽業務の継続に当たり発生する支障▽止めてはいけない重要業務▽事前準備、行動目標▽災害警戒期の避難行動、行動目標▽被害を最小限にして業務を継続するための取り組み、行動目標の7項目を順に記入してもらう仕組み。

記入欄は発災前と発災後に分かれており、いずれも▽情報収集・避難行動▽BCP対応▽地域との連携（近隣への配慮）の3点を確認できるようにした。

災害時の業種別の対応の違いを考慮し、作成例には製造業や建設業といった工業系と、金融業、運輸業など商業系の2種類を用意した。

タイムラインの場面（フ

エーズ）をイメージしやすくするため、水害発生事例を例示して状況判断を促すようにした。18年7月豪雨

での被災企業の体験談を紹介し、リアリティーを持たせる工夫を施した。